

## 令和2年4、5月下水道革新的技術実証事業評価委員会（メール審査）

「温室効果ガスを抑制した水熱処理と担体式高温消化による固形燃料化技術  
（長崎市・長崎総合科学大学・三菱長崎機工共同研究体）」フォローアップ審査 総括

○本技術について、下記の観点からフォローアップ審査を実施した。

- ・本技術の自主研究を踏まえたガイドラインの見直し等。
- ・本技術の詳細調査を実施に関する助言。

○審査結果ついて次のとおり総括する。

- ・自主研究は終了。
- ・自主研究中の運転を通じて、ガイドラインに示す性能が確保されていることを確認した。
- ・「導入効果が見込める指標として対象規模の目安を追加する。」ことについて、地域によって汚泥処分単価が異なることに留意して対応していくこと。
- ・「詳細調査」について、その必要性、実施内容等について確認した。今後、提示した工程を元を実施していくこと。
- ・自主研究の成果、今後の詳細調査結果については評価委員会の意見を踏まえ、今後、ガイドラインの見直し又は参考情報としての公表等について国総研において検討していく。